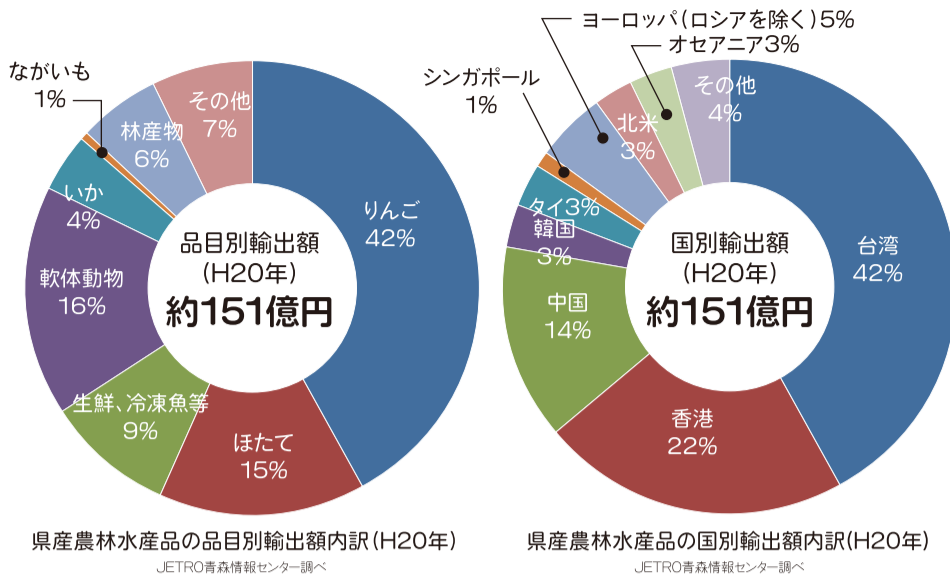


■輸出の現状

青森県の農林水産品輸出額は、平成20年で約151億円（JETRO青森情報センター調べ）となっています。

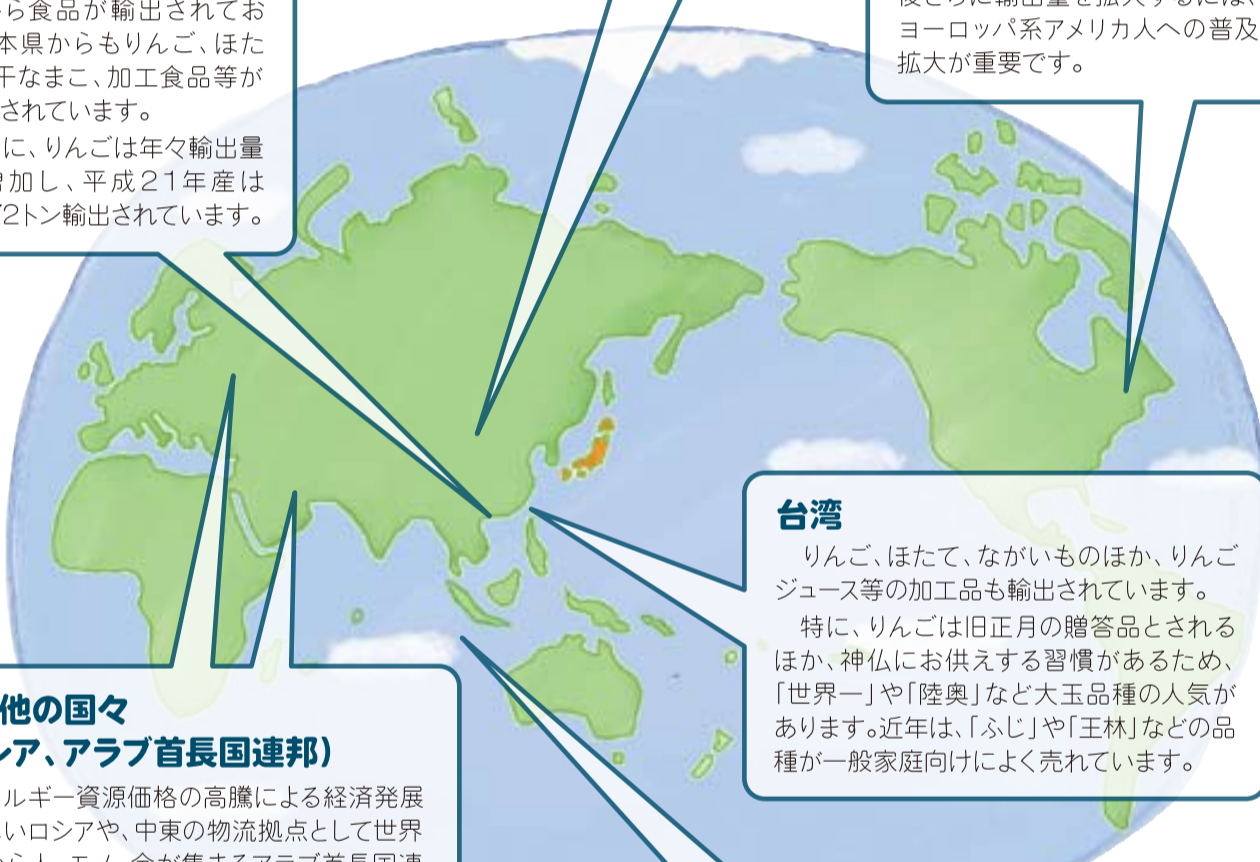
特に、台湾には、日本産りんごが平成21年産で約21,000トン（このうち、9割が本県産と推定）輸出され、これは、県産りんごの北海道・東北（青森県を除く）への出荷量を超えています。



県産農林水産品の品目別輸出額内訳(H20年)
JETRO青森情報センター調べ

県産農林水産品の国別輸出額内訳(H20年)
JETRO青森情報センター調べ

りんごをはじめ、ながいも、ほたて等、本県の農林水産品は、世界各国に輸出されています。青森県産品は世界のマーケットでその実力が認められています！



中国

冷凍魚、いか、りんごなどが輸出されています。青果物では、日本からりんごとなしだけが輸出を認められており、平成21年産りんごは、258トン輸出されています。りんごは、赤くて大玉の人气が高く、「世界一」や「陸奥」といった品種は、旧正月の贈答品として高値でもよく売れています。

アメリカ

ながいも、ほたて、日本酒等が輸出されています。ながいもは、アジア系アメリカ人を中心に食べられていますが、今後さらに輸出量を拡大するには、ヨーロッパ系アメリカ人への普及拡大が重要です。

香港

輸入規制が少なく、日本各地から食品が輸出されており、本県からもりんご、ほたて、干なまこ、加工食品等が輸出されています。特に、りんごは年々輸出量が増加し、平成21年産は1,172トン輸出されています。

台湾

りんご、ほたて、ながいものほか、りんごジュース等の加工品も輸出されています。特に、りんごは旧正月の贈答品とされるほか、神仏にお供えする習慣があるため、「世界一」や「陸奥」など大玉品種の人气があります。近年は、「ふじ」や「王林」などの品種が一般家庭向けによく売られています。

その他の国々 (ロシア、アラブ首長国連邦)

エネルギー資源価格の高騰による経済発展が著しいロシアや、中東の物流拠点として世界各国から人、モノ、金が集まるアラブ首長国連邦のドバイなども有望なマーケットとして、販売促進活動を展開しています。平成21年産りんごはロシアに15トン、アラブ首長国連邦に19トン輸出されています。

シンガポール

りんご、ほたて、コメ、日本酒等が輸出されています。県産米は、平成21年度から本格的に輸出が始まり、「つがるロマン」が百貨店等で販売されるなど、7トン輸出されています。

※上記以外にも世界各地に県産品が輸出されています。

県では関係団体と連携し、このような取組みをしています。

国際見本市への出展・個別商談の実施

輸出ルートを確認するため、現地バイヤーとの個別商談や国際見本市へ出展しています。



PR活動

現地スーパーでりんごや県産米の試食宣伝会を開催し、県産品のPRに努めています。



青森県産品ブランドの確立

県では、海外における青森県産品ブランドを確立し、商標トラブルを未然に防止するため、台湾、香港、中国にシンボルマークを商標出願し、台湾と香港で商標登録（中国は審査中）されました。

このシンボルマークを輸出県産品に表示することで、県産品の認知度を高めていきます。



ながいもを紹介する英語版ホームページを開設したり、現地の雑誌や新聞で県産品を紹介しています。